



「助けてー」魚たちのために

朝市や産直の魚が不足したり、販売しないうちが何回かありました。(2020) 原因は何でしょうか？

「娘の魚屋が、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。娘の魚屋は、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。」

「娘の魚屋が、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。娘の魚屋は、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。」

「娘の魚屋が、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。娘の魚屋は、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。」

「娘の魚屋が、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。娘の魚屋は、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。」

「娘の魚屋が、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。娘の魚屋は、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。」

「娘の魚屋が、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。娘の魚屋は、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。」

「娘の魚屋が、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。娘の魚屋は、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。」

「娘の魚屋が、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。娘の魚屋は、今更な気がするのは、3月頃からですね。でも、魚屋の姉さんや叔母さんが、今は魚屋の仕事を休んで、海外へ行ってしまっているんです。」

Q “海の環境”をテーマにどんな調査をしたの？

死んだクジラのお腹からプラスチックごみが大量に出てきたというニュースを聞いたこと、好きな海苔の漁獲量が減っていることから、“海の環境”について調べてみることにしました。

鳥羽の漁師さんからは、最近の漁獲量について「今年は(2019年)、海水温が高いので魚が獲れない」という話を聞きました。

海岸を調査するなかで、たくさんのごみを見つけました。一番多いと思ったごみは、プラスチック系の包装や容器です。



鳥羽市の海岸では、たくさんの海藻が流れ着いていて、ビニールひもや発泡スチロールの破片がそれらに絡みついているのを発見しました。

また、近海(四日市、鈴鹿、鳥羽、志摩、和歌山県)で獲れた魚の内臓の中に海洋プラスチックがあるのか、調べてみました。実際に調べてみるとあまり出てこなかったのが、少し安心しました。

Q みんなに一番伝えたいことは?

エコ活動を通して、海が大変な事態になっていることが分かりました。海にはたくさんのごみがあって小さな海洋プラスチックごみが散らばっていました。魚たちはそのごみを食べてしまう危険があります。このことが漁獲量が減ってきている原因ではないかと思いました。

もしこのまま何もしないと、将来、魚がいなくなってしまうかもしれません。海づくりを広めて海を守っていききたいです。

みんなもごみのポイ捨てなどの環境破壊につながることを絶対にしたくないので、積極的に海の清掃などの環境をよくする行動をしてほしいです。



海にアマモを増やして生き物が棲みやすい豊かな海にしよう！

海岸の清掃活動に参加して、砂浜のごみを拾いました。

最後に、「こどもエコクラブ」は、すでに家庭でエコ活動をしている人やこれから何かやってみたいと思っている人など、いろいろな人を応援してあげたいです。誰にでも取り組みやすい環境活動プログラムを紹介したり、全国のクラブと活動を共有したりすることもできます。次ページをご覧ください！



近海で獲れた魚に海洋プラスチックがあるか調査する調査方法。魚は先売所で購入または釣りの魚の内臓から調べる

調査項目	調査方法
魚の種類	魚の種類を記録し、調査する。
魚の内臓	魚の内臓を採取し、プラスチックの有無を確認する。
プラスチックの種類	採取されたプラスチックの種類を記録する。

調査結果のまとめ方：表に調査した魚の種類、内臓の有無、プラスチックの種類を記入し、結果をグラフや表でまとめる。

Q 自分の住むところをどんな環境にしたいですか？

三重県は車の移動がほとんどなので、地球環境によく交通が便利になるような暮らしができるようにしたい。

例えば、空、陸、地下を利用して、渋滞せずに、また事故が起きないような自然エネルギーを使った乗り物があればいいと思う。

人間、植物、魚などのすべての生き物が心地よく暮らせる環境になったらいいなと思う。

具体的に、地球温暖化がなくなり、熱中症をゼロにして、心地よい環境にしたい。

尚崇くん 英崇くん

「ママの、エコの輪」

家庭でのエコ活動は、むしろ小さいとりに取り組むよりも小さなことでも無理なく続けていくことが大切です。普段の生活の中でやっていることに、何のためにするのかという意味づけをすることで、取り組む重要性に気づき、課題を自分事として捉えることができしていきます。

母の重希子さん「普段、私たちは大げさなことはしていないけれど、毎年壁新聞を作らせてもらっていて、発信、発表する機会があるというのは大事なことだと思っています。」

尚崇くんと英崇くんにとって、活動を発信する場があることは励みとなり、継続していく力につながっています。さまざまな体験から環境に関心を持ち、自分たちで課題を見つけ、解決するために行動しようと思いが強くなります。「中学生になってもエコ活動や壁新聞づくりを続けていきたい」と話してくれた、今後のふたりの活動が楽しみです。

